

「えひめ建設安全の日」県下一斉パトロール

平成 29 年 11 月 10 日、建設業労働災害防止協会愛媛支部（以下「建災防」と言います。）が主催する「えひめ建設安全の日」県下一斉パトロールが、四国中央市妻鳥町の四国中央市市民文化ホール新築工事で行われ、愛媛労働局（岩見労働基準部長、三好健康安全課長）、新居浜労働基準監督署（小野安全衛生課長）などが出席しました。

今回、パトロールを行った四国中央市市民文化ホール新築工事は、地上 3 階建ての大ホール等の建築工事です。パトロールには、主催者である建災防（米谷支部長）愛媛県など 18 名が参加し、足場や高所からの墜落防止対策を重点に安全対策の実施状況を確認しました。

建災防ではこの日、県下 17 現場で一斉パトロールを実施しており、103 名が参加しています。

平成 29 年 9 月末の全国の建設業における労働災害による死亡者数は 212 人と前年同期と比べ 20 人（10.4%）の大幅増加となっており、このうち墜落・転落災害によるものが 90 人と、死亡災害全体の 42.5%を占めており、建設業における死亡災害の減少を図るためには、墜落・転落災害の一層の推進が喫緊の課題となっています。

このため、厚生労働省では、災害の多発が懸念される年末年始の 2 ヶ月間に「建設業における墜落・転落災害防止対策強化キャンペーン」を展開し、愛媛労働局及び県下の労働基準監督署において墜落・転落災害防止対策に係る重点的な指導及び周知啓発を行うこととしています。

なお、平成 29 年 10 月末の愛媛県内の建設業における死傷者数は 132 人と前年同期比で 8 人（5.7%）減少しており、死亡者数は 3 人（前年同期と同数）となっています。

